（別紙）

様式第１号(第５条関係)

会　　議　　録

会議の名称	平成２７年度　第８回美幌町総合計画審議会
開催日時	平成２７年９月２４日（木） １８時３０分　開会　　２０時４１分　閉会
開催場所	第１第２議員控室
出席者氏名	委員　若林委員、観野委員、三坂委員、森委員、工藤委員、宮田委員、早田委員、平田委員、旭委員、西島委員、大関委員
欠席者氏名	清野委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、那須総合計画主幹、竹下総合計画担当主査、 森久保総合戦略担当主査、矢萩経済部長、渡辺農政主幹、 伊成耕地林務主幹、小室商工観光主幹
議題	１　開会 ２　事務連絡 ３　基本計画素案について＜基本目標３＞ ４　閉会
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由 （会議を非公開とした場合）	－
傍聴人の数 （会議を公開した場合）	なし
会議資料の名称	・レジュメ ・第６期美幌町基本構想素案 ・第６期美幌町基本計画素案
会議録の作成方針	■録音テープを使用した全部記録
	□録音テープを使用した要点記録
	□要点記録
その他の必要事項	

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
若林会長	**<u>開会</u>** 　定刻になりましたので、これより平成２７年度第８回美幌町総合計画審議会を開催いたします。 　本日も前回に引き続き基本計画の議論がメインとなりますので、よろしくお願いします。 　また、本日は、清野委員が欠席、早田委員が少し遅れて参加となっておりますのでご報告いたします。 　事務局より事務連絡があります。
那須総合計画主幹	**<u>事務連絡</u>** 　事務局より２点、事務連絡を行います。 　１点目は、配付資料についてです。本日のレジュメのほか、次回会議の開催案内をお配りしております。 　なお、前々回及び前回の会議録はただいま作成中ですのでご了承ください。 　続いて２点目は、会議の進め方についてです。前回と同じく、項目毎の説明を省略し、即、質疑に入って参ります。質疑にあたっては、各担当の職員が出席しております。紹介は省略させていただきます。職員は、最初に発言する際のみ職名と名前を述べてください。 　また、本日欠席されている委員の方からは、特段ご意見をお預かりしておりませんことをご報告いたします。 　以後の進行につきましては、会長にお任せしたいと存じます。 　以上です。
若林会長	欠席される委員についてはなるべく意見を事前に提出していただきたいと思います。
若林会長	**<u>基本計画素案について</u>** 　それでは、ただ今事務局から説明のあったとおり、基本計画の議論を行っていきます。本日は、基本計画３について質疑を行います。 　基本目標３は、３－１から３－８まであります。本日はこれらの質疑について順番に進めていきます。では、３－１雇用の拡大、安定について、ご意見等のある方は挙手をお願いします。
若林会長	雇用の問題なので、建設の宮田委員と商業の早田委員から何かありませんか。
早田委員	５７ページの（６）の地域資源を活用し、若者の雇用の場を創出とあるが、町長のマニフェストでもあるが、何かより具体的な考えはあるか。
矢萩経済部長	経済部長の矢萩です。どうぞよろしくお願いいたします。みらいまちづくり会議等でも意見等があったが､その中では雇用の場はあるが、現実新卒者とか、求職者とマッチしていないという現状がある。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 矢萩経済部長	求人している職はたくさんあるが、若い人の働く場が無いというのが現状で、さらに安定した生活を送れるだけの給料をもらえる雇用が無いというのが実態である。そういった実態を踏まえて。起業を誘導すると共に、起業家支援をＰＲしていくが、和民ファームとか共立メンテナンスなど町内に既に進出している企業に対し多角的な展開をお願いするということで、外から力を借りたような産業の展開で若者の雇用につながっていくのかなと考えている。
若林会長	和民ファームの話が出たが、以前町長と和民の会長の所に陳情に行った時、東京事務所の課長とお会いした。非常に美幌を気に入っていて、美幌の美の字には羊という字が入っている、また、羊を飼うには適しているということで、和民の会長にも牧場で羊を飼ってくれないかと話をしたこともあり、検討させてもらうという話だったが、その後行動には移していないのか。
矢萩経済部長	具体的行動にしていないが、情報収集とかどんなことが出来るのだろうかと検討段階である。
若林会長	検討は短い方がいい。行動に移さないと何にもならない。和民も共立とも美幌町は縁があるのだから、ホテルの誘致にしてもしつこいくらいお願いしないとならない。ルートインの話では美幌町は２００人くらいの規模であれば、十分やっていけるというように判断しているとのこと。 和民の会長も美幌町のポスターを全店舗に貼ってくれると言っていた。
小室商工観光主幹	ポスターも送らせてもらっているし、今現在和民のメニューの所に美幌を紹介してくれて、応募者の中からアスパラをプレゼントしてくれるという企画もやってくれている。
宮田委員	継続して欲しいという要望として、５６ページの（２）の②助成制度等における地元企業への優先発注と（３）の①技術の取得支援による雇用の促進の中で、通年雇用の促進のための労働者の技能向上の支援については継続でお願いしたい。ただ、通年雇用については我々建設業においても工事量が減ってきて、通年作業員で雇えない厳しい状況だが、技術を取得して頂いていた方が、通年で雇いやすいので継続してお願いしたい。
矢萩経済部長	今実際に経済部で通年雇用の促進支援事業で、支援員を１名配置しているので、企業を訪問したり情報収集しながら、対応をしている。
若林会長	季節雇用の関係を津別と広域でやっており、技術を身に着けさせるような支援をしていると思うが、一部の人は通年雇用を好まないという声も聞くが実際はどうなのか。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
小室商工観光主幹	この間アンケート調査を行った。その中で、季節雇用者の中でも特に６０歳以上の高齢者になると通年雇用は望んでない方も結構いらっしゃった。
宮田委員	我々も通年雇用を促進しているが、昔と変わってきている。冬期間仕事が無いとき本州の方で仕事を見つけて行ける人を募ったりもしてきているが、行きたがらなくなってきている。昔だと行って稼いでという人もいたが、今はそこまでしなくでも、冬の間こちらで仕事できるものを探すという方が増えてきている。なかなか通年雇用促進と会わなくなってきている。 こちらで仕事があれば働きたいと行っているので、働ける場所があればいいので、作ってほしい。
若林会長	働かないといっている人を働かせる訳にはいかない。高齢者といっても元気で働いている人はまだまだいる。 ６次産業とかも基本計画には載っているが、そういうお膳立などの雇用の場の創設は役場でできるのか。
矢萩経済部長	先ほどの津別とやっている通年雇用の関係で、支援員がどういった職種を望んでいるのかという声をきいて、マッチングする情報提供をするのがメインになっていくのかなと思っている。
若林会長	今は企業誘致より企業育成に切り替えている。そちらの支援を一生懸命してほしい。
矢萩経済部長	今ある企業をいかに残せるかが重要であると町も思っている。
観野委員	安定した所得が得られる職場が無いといっていたが、安定した所得とはどれくらいなのか。
矢萩経済部長	具体的な数字は持ち合わせていないが、よく若い人からは安定した生活が遅れるような給料をもらえる会社が無いんだとう話を聞く。
若林会長	若者向けに役場でなんとかしてもらえないかと思うもので、５７頁の（６）で「起業家支援事業」があるが、若者から相談も受けたこともあるが、駅の近くの赤レンガ倉庫に目を付けており、事業を起こしたいが、準備するお金がない。そちらはどこの持ち物か。
伊成耕地林務主幹	農協である。
若林会長	町で取得して１年くらい無料で使わせるとか、低金利で融資するとか、制度を作ってはどうか

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
矢萩経済部長	赤レンガに限らず今年から、起業家支援補助制度を設けて、２００万円を限度に起業家支援をしている。実績として２件、今後含めて合計６件の相談を受けている。
若林会長	２００万円は安いと思う。網走なんかを見ても金額は高い。もう少し思い切った応援ができたらいいと思う。いい事業もやっており、店舗リフォームなんかは商店の人には有り難いと思う。 赤レンガでは若い人たちでカフェなんかを作りたいと思う。
森委員	（１）の②で地域の特性を活かしたとなっているが、最近災害など多いのでこの辺は有効かと思っているが、データーセンターやバックアップセンターの誘致となっているが、こちらから積極的に地震はないですよ、火山はないですよ、災害は少ないですよと働きかけなどしているのか。
矢萩経済部長	北海道東京事務所に町長等が顔を出す中で、企業誘致の情報を頂いている中での話の中で、災害は少ないとＰＲはしているが、具体的な動きは現実は無い状況である。
森委員	チャンスだと思う。最近災害が多い中で、災害を逆に取って売り物にしたらいい。
小室商工観光主幹	今までなかなか企業誘致は難しいということで地元企業育成に力を入れ始めたが外部の力も必要だと町長も認識している。 今までは誘致の旅費等の予算計はしていなかったので、積極的なＰＲにはいけなかったが、現在は東京事務所の力を借りながらＰＲ等している。今後はピンポイントを絞ったＰＲ活動の時期が来ていると思っているので進めて行きたい。
若林会長	東京事務所は美幌の応援団だと思っている。実吉さんがいる間に渡りをつけてもらったらいいと思う。羊は一押しにしていた。
西島委員	５７頁の（５）の③で第１次産業と書かれているが美幌の基幹産業は農業で大変厳しい時代に入ってきているが、農業後継者が減っている中で町としての対策として、経営の安定や地域経済の活性化となっているが、具体的な対策は何かあるか。
若林会長	ここでは１次産業の支援となっているが、次の項目の３－２の農業の振興に行き、そこで話を聞きたいと思う。では３－２の農業の振興に写ります。あらためて答えをいただきたい。
矢萩経済部長	町全体の人口が減るなか、農家戸数も減ってきており、何らかの方策を講じなければならないということで、例えばコントラクターという農作業を請け負う組織を組織化したり、また新規就農者とか、担い手育成

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 矢萩経済部長	といった担い手対策事業進めている状況である。
若林会長	農家の戸数減っても耕作面積は増えているのか。
渡辺農政主幹	農政主幹の渡辺です。よろしくお願いします。耕作面積は実態調査では約９千７百ヘクタールである。
若林会長	３０年前と比べて減っているのか。
広島総務部長	恐らく横ばいで１戸当たりの耕作面積は増えている。
若林会長	１戸当たりの面積が増えるということは強い農家につながるのではないのか。
広島総務部長	離農される方の９割が後継者がいないということで離農していくが、跡地を耕作放棄地にはできないので近隣の方が斡旋の中で引き受ける形になる。積極的に引き受ける土地と、遊休農地にしたくないということで引き受ける土地があり、１戸当たりの所得向上とか生産力強化につながっているかというと必ずしもそうではない。
矢萩経済部長	これまでは自分の所でできていた例えば選別が、経営面積が広くなり、人手も足りなくなり、手が回らなくなっているというのが実態である。
若林会長	選別をサポートしてあげられる施設なんかもあるのでは。
矢萩経済部長	農協さんでやっているが、今度そういった所に勤めるパートさんが足りなくなっている。
若林会長	林業と比べると農家の方が機械も大型化できて人の手間を考えると楽になっているのでは。
広島総務部長	大型化すれば機械も大型化出来るが、その分コストもかかり、面積が増えた分、その分所得につながるかというと必ずしもそうはなっていないことに問題はあるので、例えば生産法人を作ってコストを下げていくといったことを最終的にやっていかなければならない。 後継者不足も今後続くのでそういう中で1万町歩の農地を守っていくかを考えていくには共同化で生産法人を作ることを考えて行かなければならない。
若林会長	今までみたいに、ただ作ればいいという時代ではない。ただ日本全体の輸出量は増えている。
広島総務部長	ＪＡの販売の取扱高も約１００億で、美幌町と同じ予算規模なので、

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 広島総務部長	そういうところからいけば相当の産業効果、運送業界とかいろいろなところに関わっていくのですごくに大きな効果が出ている。
若林会長	農家の嫁不足とあるが、本当に大事なことだと思う。農業後継者に嫁が一人来れば人口が一人増えることになる。
三坂委員	61頁の（３）①未来農業センターのことだが、ここで育成しているアスパラなど冬期間のことで対応していると思うがこの辺の実績はどうか。各自農家にまかせているのか。
渡辺農政主幹	アスパラのことで申しますと、３色アスパラを通年を通して本格的には昨年から、冬姫の商標登録を取りまして、生産者の方で積極的に根株の植え付け、提供等少しずつ生産戸数も面積も増えてきている。
三坂委員	確かに経費等かかるが、高収入にはうってつけの仕事でいいことである。音更もやっている。温泉があるところは強い。美幌も負けずにがんばってやれば野菜農家も良くなると思う。
渡辺農政主幹	手間暇かかるが、クリスマスに出荷するとキロ５千円にもなるので良い収入になるので期待はしている。
若林会長	温泉を利用できるのか。
広島総務部長	加温が必要なのでその手法を温泉熱の利用で可能である。
大関委員	いつも思うが峠の湯の周辺で都橋の人が、温泉の活用ということはできないのか。
渡辺農政主幹	生産者の人が取り組んでくれるならばそういう利用方法もできるかどうかを検討は出来ると思うが、温度と量にもよると思うが。
大関委員	あそこにお花を植えてお花畑にしてもいいと思うし、ここに新しいことをしようとする人材がいないのかなと思う。
若林会長	温泉熱利用の話がでたが、この町では至る所に温泉が出るようである。美禽橋の付近にも以前温泉が出たようである。１回ちょっと調べたらいいと思う あと、コントラクター事業とはアグリサポートのことか。
矢萩経済部長	よく言うアグリサポートのことである。
早田委員	６１ページの⑧で町外から来て農業を勉強する施設があると思うが。
渡辺農政主幹	みらい農業センターで行っています。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
早田委員	そちらで募集とか人集めをどの様な手法で行っているか。 また、津別では行っているが農業経験して農家に宿泊するというようなことはやっているか。
渡辺農政主幹	現状としては新規就農は経営継承方式で行っている。それは農業機械などが無いと大変だというようなこともあり、今年度初めて１名経営継承方式で行った。もう１名今年度から３年間で研修して経営継承方式に近い形で行えるよう取り組んでいる。 農業実習生の関係はみらい農業センターで受けているが、現在受け入れは女性のみである。それはそのままお嫁さんになってもらいたいということである。各種セミナーに出向いて募集などを行っている。現在３名が実習に来ている。その中で独身男性の所に実習に行ってもらったり、各種婚活イベントにも参加してもらいできるだけ美幌町の人と結婚してもらえるようにと思い実施している。
早田委員	町のホームページなどで発信はしてはいないのか。
渡辺農政主幹	トップページを開いていただくと、みらい農業センターのページから入っていける。
若林会長	体験者はどこに寝泊まりしているのか。
渡辺農政主幹	みらい農業センターの２階に寝泊まりしている。
若林会長	３０年前くらいから都市と農村の融合ということで農家の納屋を改装した観光客に農業体験させて、ということがヨーロッパとかでは盛んにやっているが、ここは観光の１つとしてやれるのではないか。リフォームもやっているので、例えば農村そういう改装費用をみてやるとか。そういう事も検討してもらいたい。
三坂委員	それは昔グリーンツーリズムがあったと思うが、会長の言うようにヨーロッパでは人間的な融和があってよかったが、日本では島国根性で孤立してなかなか馴染まなかった。このごろようやく民泊的なものが少しずつ見えてきた。まだまだ日本に馴染むのはほど遠いかなと思う。当時農林省も来て美幌でどこかやってくれるとこ無いかと探していたが、無かった。これから時代も変わってきたので期待はできるが。
宮田委員	自分は２０年前に町の研修でケンブリッジにファームステイしたが、向こうは基本放置だが、日本人的にはこうしたがるから、その辺も農家さんが敬遠した。受け入れる側も割り切って泊まってもらって、見たければみていいよ、手伝いたければ手伝っていいよみたいな外国人の暖かな感じで対応できればいいと思うが、なかなか日本人的気質ではなかなか難しいかなと思う。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
三坂委員	６２ページの（５）の⑤肉用牛の生産振興で、美幌和牛の資質向上となっているが、畜産農家の対応はどうなのか。将来的に望みは高く持っているのか。
渡辺農政主幹	現状的には減っている。
三坂委員	美幌和牛というブランドは田村で取っているのだろうが、あれは他では使えないのか。
広島総務部長	和牛農家については特産品として美幌和牛とは別な形でブランド化したいという農家もおり、後は施設と指導者が問題で、そういったところを研究したいとも思っており、行政としてどう支援していけるかといったところである。
若林会長	和牛まつりの牛は峠牧場の肉ではないのか。
広島総務部長	舎飼をやっていた頃は出していたが、今は違う。
小室商工観光主幹	今は都橋の菅原牧場での和牛を出している。今は何頭か余力はあるくらいだが、基本和牛まつり用として飼育をしてもらっている状況。
宮田委員	先日テレビでニセコの高級リゾートホテルの食事で美幌和牛が出ていた。すごくおいしいとのことで、田村さんかどうか分からないが、ああいう風に使ってもらうとＰＲになるなと思った。
若林会長	次に林業の振興について、ご意見をいただきたい。
観野委員	林業の関係では認証林ということで町が力を入れているので、和民など有力な企業などで植林などもしているが、認証林の植えるのはいいが出来た後の消費が非常に芳しくない。カラマツ材と言えば美幌の２０棟ですか、新築住宅に奨励したりとか、あと、下川町から注文があって出したりしているが、カラマツ材はそんなもので、町有林は津別の加賀屋さんを通して出てるようだが、この認証林の材がもう少し有利な販売出来ないか常日頃組合の中では話をしている。認証林の認定受けても経費ばっかりか嘗てさっぱりメリットがないとそんな話も聞かれる。 和民さんなどは全国チェーンなので、店舗の改装とかにとかに使ってもらえないか。集成材の原料などでは注文に応じることもできるので、そういう展開も町の方からも協力していただけると助かる。
矢萩経済部長	和民さんとも情報交換、意見交換する場があるので地元の林業界からそのような話があったことは伝えていきたい。
若林会長	カラマツは安いよね。杉や檜に比べると。今カラマツを改良して非常に早い成長をするようなことを開発していこうという道の動きがある

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 若林会長	が、町はこれに絡んでないのか。
伊成耕地林務主幹	耕地林務の伊成です宜しくお願いします。今のカラマツの品種改良の話があったが、町はタッチしていないが、道の方でそういう動きがあるのでしょうか。
若林会長	実験的に始めようとして山を持っている人にそういう話があった。
伊成主幹	今カラマツの方でネズミの被害があるので、改良してネズミに強いＦ１とか開発して普及している。ただ幼木がそんなに取れないので植林したいところに全ては配布できない。
那須総合計画主幹	事務局の森久保主査が３月まで、道の森林計画課におり、ただいまの件で知っている内容について説明させて頂きます。
森久保総合戦略担当主査	成長の早い品種の改良は進めており、クリーンラーチとか言われるもので、ただ苗がすごく高く２倍くらいする。また品種改良されたものは苗の生産が追いついてなく、注文入るが対応しきれていない状況であった。
西島委員	早く伸びてもカラマツ材の需要がないと、森林組合も大変だと思うが、山を持っていても売れないと大変ということになるかと思う。
観野委員	カラマツの合板は津別の丸玉さんで作ってくれている。
若林会長	生産コスト下がって成長が早いんだったら、もっと安くなるような研究もしているんでしょう。
森久保主査	まず普及をしないとだめだということで、まだ出来て３年くらいで、国有林から研究を始めている。確かに成長は早いが材となって出て行くまでに４０年くらいかかるので、なかなか国有林、道有林、民有林と降りてくるがそこまでにはまだ時間がかかるので価格が下がるのも時間がかかる。
若林会長	林業の振興についてはよろしいか。４番の新エネルギーの推進に入ります。何かありませんか。
観野委員	町民会館を建て替えすると聞いているが、熱源なんかは従来どおり石油を使うのか。下川町あたりは新聞で木材を使うと書いてあったが。
矢萩経済部長	町民会館の熱源については情報を持ち合わせて無いので申し訳ない。
広島総務部長	ただ、木質のバイオとかを使うような計画はないと思う。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	本当は公共施設の中で認証材を使って大いにＰＲして行かなければならないと思っているが、これだけ新エネ含めて環境問題に取り組んでいる町なので、それらを含めて、いかにそういったものを公共施設に取り入れていくかといったことは検討しなければならないと思っているが、ただ町民会館には間に合わないかと思う。認証材はＰＲ不足だと思う。下川などは相当公共施設に使っているので、そういうところから比べると同じＦＳＣを取っている下川町から相当遅れているかなと思うのでどうカバーしていくかは検討しなければならない。
若林会長	ＦＳＣは３町くらいか。
伊成主幹	町では美幌町と下川町のみである。あと一般の三井さんの３者である。
若林会長	せっかく集まっている委員からの意見なので取り入れられるなら取り入れてほしい。 エネルギーはよろしいか。次に５番の商工業の振興に入ります。 ここの中心市街地に４つの商店街とあるが５つでないか。
小室商工観光主幹	旭が解散したので現在４つである。
若林会長	今、私が非常に評価できることはスマッピーカードの支援がイコール町民へのサービスだと思うが、１万円チャージして３千円のプレミアムがつく。全国的にも３０％もつけているところは聞いたことがない。しかも、もう６年もやっている。どんどん広がってきているので売れるのが早い。何よりもこの町でしか買い物が出来ないというのがいい。商業者としては感謝している
大関委員	スマッピーカードで、なぜ大型スーパーで使えないのという声を聞く。美幌町は商工会の個々のお店屋さんが、大型店に行ってしまうと、売り上げがどんどん減少するのでそのために町で使えるスマッピーカードをそういう目的で作っているんだよと話すと、どこでも使えると思っていたら使えなかったということがあった。 今回のプレミアムあれは商品券だったが、私も最初気がつかなくて買えなかったが、なぜそんなに早く売れたのと聞くと、全商店で使えるためのプレミアムだったから売れたみたいである。
旭委員	使えるお店が広まりましたよね。
若林会長	あれは単発だと思う。国は毎年あんなこと出来ないので。
小室商工観光主幹	今、大関委員が言われたことで、ちょっと間違いがありまして、今回の商品券の９月１２日に発行したられた部分は、大型店は使えない。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
小室商工観光主幹	商工会議所の中でも、実行委員会組織立ち上げているので、その中で話しをした時にスマッピーカードと連合商店会の加盟店、ここまで範囲を広げて登録制にしましょうということで、今までやっていたスマッピーカードにプラスされたのはお菓子屋さん、平野さん、花月さん、山本さん楠木さんそれと、大きく言えば肉の田村さん、割烹も含めて使えるようになったというところでそこまでしか使えてない。今言った大型店のコープとかアークスとかこれが使えるのは少しややこしいが、多子世帯に配った商品券は生活支援ということでやっているため、生活費の足しにしてくださいということで広げた。今回９月１２日に一般的に売ったのは美幌町内の元々あった店舗でしか使えないという状況で、我々今後も基本的には会長が先ほど言ったように、国の何かで生活支援を目的するものについては町内全域で使えるようにしましょうと、それ以外は中心市街地の活性化、いわゆる商店街の活性化を目的としているので、たぶんこのようなスマッピーカードや連合商店会に加盟しているところに絞って行きたいという考えは持っている。そこの使い方は生活支援か商店街の活性化という目的に分けて今回やらせていただいている。
大関委員	子育て支援とオレンジ色の紙がはっているところか使えるところか。
小室商工観光主幹	そこが多子世帯である。オレンジと緑と分けているがオレンジが３人目以上の多子世帯で生活支援としている。１世帯子供３人目以上３万円の商品券を配っており、仮に４人いると６万円で最高５人の世帯なので９万円の商品券がもらえるということで、９万円をなんとか生活の足しにして下さいということでやっているので、これも国の交付金事業を使って出来た事業である。たぶん皆さん９月１２日にあっという間に売り切れたのは若干勘違いしているのではないかという噂もあったが、広告でも使える店舗掲載しているので、誤解を受けた人には申し訳ないが、周知はしているつもりではいる。
若林会長	売れ残るのではないかと思っていたが、早い時間帯は１人１万円ではなくてどーんと買った人がいたが、双方で理解出来ていなかったと思う。結果的にすぐ無くなったが。その日のうちに使った人も多く、たまたまお昼田村に食べに行ったときに、もうこんなに商品券ありますと見せてくれた。特殊な店に集中するのがいいのか課題はあるがいずれにせよ消費があおられていることは間違いない。 スマッピーなんかも飲食店で、いちいち出すのが面倒くさいと言っていたが、今は随分使われている。何かやって行かないと、お金が回ればこの町も潤いますから。
宮田委員	６９ページ（１）の③の店舗リフォームとその下のマニフェストについてと、７０ページ（２）の③と④についてその内容的にほぼ同じなのでまとめるということはできないのかと思うが、その点と７０ページの④についてはハード整備の推進となっているが、ずっとそうなのでもっと早めるような言葉の促進とかにできないか。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
若林会長	これぜひ優先順位上げていただきたいんですよね。早くやらないと商店街無くなりますから。今、ようやく商工会議所の方から担当部署の方が広島部長にお願いして窓口になっていただいて、商工会議所なれるのは計画書をもってお願いしました。計画書は我々が好き勝手作ったものなので、役場と協議してそれを早く立ち上げていこうということで、合同で、実現出来るようにというステージができましたので、ここのところは優先順位を上にしてほしい。
那須総合計画主幹	６９ページの店舗リフォームで③と内容が同じなので１つに出来ないかというお話しだったが、括弧書きと言うのは上の③のうちの一部かぶっていますよということで、どこが違うかというと、マニフェストで言っているのは起業家支援事業という項目も謳っているということで③のまちづくり会議で議論してきた内容と一部かぶるが別段の括弧書きとしている。また。７０ページの④の推進をもっと積極的な表現にということだが、推進という言葉までがマニフェストで掲げた項目であるので、このまま掲載した。
広島総務部長	③と④の施策の内容見ると違いが判らない感じがしますが、基本的にマニフェストの部分については行政側の思いといった施設と、③の方は会議所からの提案の施設ということについて、話は両方協議しながら進めて行くが目的が違った施設をイメージしている部分があるので③と④に分けさせていただいた。 もう１つ④の推進ということを促進という言葉で早く取り組むような形にということだったが、町長のマニフェストに上がっているということを含めて、役場の検討会議を組織して、平行して役場は役場で会議所は会議所でそれを持ち寄ってお話しをする形で進めたいと思っているので④とその前に出てきている、例えば中心市街地の活性化で行けばイベント道路とか全部含めて検討しなければならない施設が結構あるのでそれらの検討組織を立ち上げようと進めているのでそれらを軸として③含めて検討した中で会議所さんと協議したいと考えている。役場の検討会議については１０月８日を目処に立ち上げたいと思っている。そういった意味では推進と言うよりはもっとスピード感は早くなるというように考えている。
若林会長	町長が推進とマニフェストに書いたからと行って８年間も推進では駄目でしょう。促進で無ければ駄目でしょう。昔は推進で良かったかもしれないが、今更推進と言って貰ったら困る。
平田副会長	この会議の冒頭で言ったと思うが、マニフェストで上げてくると言うことは、せめて自分の任期内の４年でやれることを上げてこないと意味がないと思う。いまの土谷町長がこれを取り入れるのであれば任期中に完成させるという結論ありきでやってもらわなければ、ただ出してきて結果出来なかったからごめんでは、選挙に出なければ次ごめんも無いと思うが、それでは駄目だと思う。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	施設自体が今の町長の任期の中で完成するかどうかは定かではないが、このマニフェストに上げたということは、町長としてはきちんと協議をして方向性としては任期の中でできれば完成に行きたいけれども優先順位としては高く進めて行きますということで、任期内に施設が完成をするという補償は出来ないが、町長としてもスピード感を持ってこれにあたっていくことでマニフェストに上げたものだということで町長から指示を受けている。従来と違った形でのスピード感を持った形で進められて行くと考えている。
若林会長	やっぱり時間がかかるものもある。４年で必ずできるかと言ったら出来ないものもある。じゃあ４年以内に出来なかったらマニフェストに上げてくるなともならないと思う。８年なり１２年なりそういうことを真剣に一生懸命やっている姿を見れば、２期目も３期目もあると思う。
平田副会長	だけどある程度の目標だけ立てて、中間的な答えも４年で出来なかったけれども、次に引き継ぎますとか、町の事業として完成まで遂行しますとか、ある程度も目処も立てなければ、ただ選挙で出たときだけマニフェストで出してこういう基本計画に載ってきて出来ないではすまない。
広島総務部長	たぶん４年間の中で方向性を確立させたいと町長は思っているようなので、恐らくタイムスケジュールは別として、こういった内容でというものを確定させ、それに基づいて町の役割を決めた中でそれに向けていつ、あるいは会議所含めてどういった形で年次設定までできるようなことを町長はイメージしているのだろうと思う。そこの所を含めてスピード感をもって対応しなさいというところだと、我々も認識しているので、そういった中で今後は進めて行きたいと考えている。 いずれにしても協議経過、あるいはいろんな形でどう進んでいるかといったことをもう少し町民の目に分かるような形で町長の任期中は進んで行くのだろうと思う。
若林会長	できればここにはどこにも触れていないんだけど、だいたいどの位を目処にしてやりたいというようなことを盛り込むべきだと思う。今までそれは無い訳でしょう。いつ位までにやると言ったら、これは町民との約束だから、やらざるを得ないでしょう。これ何も目標を持たないでやりますやりますと言っても、やる気も起きないでしょう。だから、そういうことに少し触れて欲しいと思います。
宮田委員	今の説明でいろいろと分かったが、官と民とのイメージの違いで分けているとか。言葉についてはどちらでもいいと思っているので、早く進めてくれればそれに超したことないので、それともう一つ店舗リフォームの促進事業についてなんですけど、我々建設業界も町の方に住宅リフォームということで要望活動してきた訳なんですが、今年から初めて実際に予算に対して何％位来ているか分かれば教えてほしい。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
小室商工観光主幹	今年度１００万円が限度額で、３０件を予定して３千万円の予算を計上しています。その中で現在のところ件数的には、ほぼ３０件クリアーしているが、その中でマックスまで行かないということで、今現在２千３百万円の申込み状況で、今後手を着けているところも含めてなので、最終的にどうなるか分からないが、大体が秋以降の着手になるということであと７００万円くらいの残があるという状況である。
宮田委員	１戸１００万円限度だけど実際は・・・
小室商工観光主幹	補助金ベースで４０万円とか７０万円とかいうところが多い。
若林会長	１００万円限度というのは、いくらの何割で１００万限度とかになるのか。
小室商工観光主幹	２分の１の、補助対象です。
若林会長	２００万円までの事業に対して出すということか。
小室商工観光主幹	そうです。
若林会長	店舗に対してのリフォームっていうのは、ああいうのは初めてでしょう。
大関委員	自分のお店でないと出来ないと思ったのが、借り店舗でもできると出ていましたね。
若林会長	なかなかあれも縛りがあって、こういうところまではいいけど、これはだ駄目といったこともあるのでしょう。
矢萩経済部長	これについても実際やっていく中でずいところがあったら随時見直していきたいと考えている。
若林会長	何でも事業駄目だったら、見直していったらいいよ。役所もこう決めたら、このとおりやっていかなければならないと思うでしょう。不都合あったらどんどん変えてもいいことやっていったらいいと思う。
小室商工観光主幹	今言われたのは店舗に限ってということがあります。今約半年たって、いろいろなことが聞かれるのは、今日、工藤先生もいますが、医療関係は対象外にしている。薬局は大抵の所が一般の薬を売っているとか、お客さんの出入りも多いということも含めて、店舗リフォームは対象にしているが、医療は残念ながら対象にしていない。その中で、歯医者も含めて何とか改善して欲しいというのが１つと、あと事務所部分もお客さんとの関わりがないということで対象外にしているが、そこの部分もやっぱり一体化として見て欲しいという声もあるので、現在のとこ

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 小室商工観光主幹	ろ３年の時限で行おうという考えでいるが、今後どうなるか先ほど宮田委員の方からも継続という声も含めて、検討して行くということになりますが、内容についても随時いろいろな要望を取り入れながら、今後改正していきたいと考えている。
若林会長	７番の宅配移動便利サービスの充実なのですけど商工会議所で役場の補助いただいて配送車２台持ってやっているが、まだまだ知名度が足りなくて、本来の買い物弱者の方の役に立っていないと、機能していないこともあるので、いろいろな機会に皆さんもＰＲしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
平田副会長	電話番号やなんかを簡単にかけられる、例えば＃の何々押せばつながるとかあるじゃない。そういう電話登録とかはできないか。
若林会長	それは押す側にそういう機能がないと、無理ではないか。
平田副会長	でも今ほとんど電話機にはついているよね。
若林会長	短縮ダイヤルのことかい。それはうちの方で検討させてもらいます。
平田副会長	結構お年寄りはある自体も知らない人が多い。
大関委員	あれは中心商店街からする買い物ですよね。そうするとお店に行っても例えばマヨネーズ１本と言われたときに、大きいのしかなくて、１人暮らし２人暮らしの所には小さいのが欲しいのに大きいのを持ってこられた。それと品揃えが全然なってない。欲しい物が手に入らないと言って、やっぱり駄目だねと言って辞めたお客さんの声を聞いた事もあるのです。だから１件のお店で仕入れるのが大変だったら何件かで分けられるような仕入れの仕方、もっとお店屋さん自体が仕入れの仕方とか売ることに対して意欲的になって欲しいなと最初の頃思っていたんです。
平田副会長	今流れとしては意欲的になっても大関さんの言われるような仕入れは個々の集まりでは出来ない。それができるのはナショナルブランドのセブンイレブンさんとかローソンさんとかセイコーマートさんとかでは１個からでも好きな物を仕入れられるが、売れるか売れないか分からないから仕入れられないということがある。具体的な要望に応えるのに自分のところに無いときはＡというスーパーに行って調達してあげるという機転の利かす人も中にはいらっしゃるでしょうけど。
大関委員	そのくらいしなかったら、なかなかせっかく作った宅配も利用者が無くなると思いました。
若林会長	そういう努力をしないから衰退してきた。今大関さんおっしゃっていたことは会議所でも改善します。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	ただお年寄りって回覧板とか広報に出ていますといってもなかなか見ない重要なことや危険なことは電話の所に貼って貰えるようなところまでしなければ、いざというときには忘れてしまう。
若林会長	次６番の観光の振興ですが７番の地域特産品も観光に結びつけるといった意味合いからいくとこの２つについて皆さんから質問をお受けしたいと思います。
平田委員	特産品ということで、美幌町には農産物の加工会社がクレードルさんとかありますようね。たまたま自分も地場のコメを作って清酒を造って貰って売っている、そのときのパーティやなんかでクレードルさんにもコロッケなんかを提供してもらっている時があるが、コロッケなんかもおいしいのでどこで買えるんですかと聞くと、買える場所が無い。 クレードルさんの食品は特にそうだと思うんですけど、作っているけど、違う俗に言うＰＢブランドで他に行ってしまっていると思うんですけど、ああいうものを地場の観光産物として買えるようにしたら多少は違うのではないかと思うが、多少ではペイしないからというジレンマもあると思うがそこがやっぱり、行政がからんで最低限面倒を見るなりなんとかしてあげれば結構いいのではないかなと思うのだけれども。 今は丸和油脂さんとクレードルさんですか、美幌で農産物を加工して販売しているのは。特にクレードルさんはおいしいから欲しいと行っても買えないという、もらい手も例えば何何々食品という裏を見れば美幌工場と書いているかもしれないが、そういう美幌パッケージで出せるものがあればまた、生産者の生産意欲も変わってくるのではないかと感じを受けているが、その辺はどうなんでしょうかね。 そして特に一昨年ですが、美幌町の職員で一般社会人枠で採用されている職員がいるじゃないですか。派遣で森久保さんも来ているが、そういう人たちを利用してまだまだ美幌の産物なんかをＰＲできると思うのですよね。特に聞くところによれば今商工観光にいる和食チェーンの屯田さんにマネージャーをやっていた人も来ているという、なぜそういう人を利用しないのかなと私は思っているが、もっともっとそういう人を利用すれば東京事務所を利用するのも大切な事かもしれないがまだまだ効果があるのでは無いかなと思う。
若林会長	三坂さんそういうのは観光物産協会の１階の駅のところでクレードルの何品か詰まったセットにして商品と関係無いようないいネーミング作って並べておくようなことは出来ないのか。
三坂委員	やってやれないことは無いけどその商品がクレードルの場合はなかなか流してもらえない。というのはメーカー直轄でしょう。そういうやつは全部回ってこないんですよ。例えば丸和油脂だとか田村肉屋とかそういうやつはいいんだけど、大手のサンマルコだとかあのような形態は流通形態が決まっているので我々に直に持ってきてくれということにはならないですよ。それで我々今やっているのは美幌と津別と大空町と

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 三坂委員	この３つで木育広場でやっている。そして物販をしていこうと、そんな発想でやっている。美幌の物もけっこう置いて今は野菜類が多いのだけれども、消費者というのは良い物は高くても買って行ってくれるのだけれども、はねといいのとその区別をきちんとしてもらわないと困るというのは、うちらの物産の方でも多少未熟な所があるのだけれども、良い物は良い物はね品ははね品で分けて売ってくれれば、私もいつも言ってはいるが、しなびているようなものは持って帰ってもらう。あくまでも農家の場合、買い取りで無くて委託販売でやっているのですよね。
大関委員	何日のものですよと分ければいいと思うのですよ。安ければ買うのだから。
三坂委員	その辺も言っているのだけど。今、上がきちんと直って下もそれによって整理つければ、良くなると思います。それと町長明日無人駅の関係で札幌行っているようだけれどもその系列もひかえて全体的な構想が変わって来ると思うので。 それと、この観光産業と物産についてなんですけど、町でも観光振興という形で会議をやっていますよね。それと会議所でもやっていますよね。どっちも似たり寄ったりのものなのだけども、これがそういう意見まとめた時総評の中でいったらこういう文章で僕は良いと思うのだけれども、ただその中で道の駅と言うのがあるのだよね。例えばね３番か、道の駅に関してはどこを道の駅にするのか、峠の道の駅か、町の中の道の駅か、この辺をはっきり区分分けしていかないと観光情報発信という形で、私たちも今のぽっぽ屋を道の駅にしたいという考え方を持っている。と言うことは総合的な交通の乗り入れと交通体制が一番いいのでね、そういう場所を前提に早急にしてもらえると助かるなと思う。というのはこんな事言うのは悪いがＪＲの関係で美幌は無人駅確定的だと思う。努力はしているだろうけど、そうなると利用者の場合はやっぱり都市間バスの方が安いものだから、利用度が高い。そうするとあの運行状況をスムーズに流れるようにしてやらないと、都市間バスの場合ワンマンカーですから、美幌の町入らないで高規格を抜けていって北見に入るという形を取られる。北見の場合は高規格走って行っても、川向から降りて来られるでしょう。だから国道３９号線を必ず走らなければならない。それで駅広もあの辺はもう少しきちんとしなければならない。前から言っているようにお願いしたいなと思う。それは全体でやっているから、この文面ででているのと大差は無いと思う。総体的には観光そのものはこれでいいと思うのだけれども、もうちょっといい加減に先ほど会長が行ったように規定をして、どれからやるかということをはっきりした方がいいかなと思う。 正直今回は駅の林業館あれは今まで携わってやってきたけど、今回だけはあの木育広場はうまくいくかなと思っている。これ美幌の人間ばかりが来るのではなく、近隣町村から来るのですよ。生田原のちゃちゃワールドみたいな感じで、駐車場も今町の方で考えて今整備やっている。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
大関委員	ああなるはずでは無かったはずなのだけれども。あんな所に都市間バスが行ったって、無視だものね。
三坂委員	昔の駅を知っているか。あれでいいのですよ。
大関委員	あそこに待合室がバスもＪＲも全部同じ駅の待合室にして、バスが来たらバスに乗る、汽車が来たら汽車に乗るということを駅前再開発の前はずっとやっていたんですけれども、再開発をやった後はまったく出来なかったんですよね。
若林会長	出来ない事情もありますけども、それは地域事情もあって、そんなことを今更言い出したってね。
三坂委員	それで、今２０数年経ったので、あの辺一大改革して欲しいなと。
若林会長	まずここで道の駅と言っている言葉がね、今我々商工会議所で図面引いて持って行っているのは、中心商店街の再開発事業の中での道の駅と言うより街の駅的な機能をお願いしている。今三坂委員がおっしゃった駅の所に道の駅が欲しいはそれはそれで、別なものとして考えてやっていったらいいと思いますよ。町の中に２箇所あっても何の問題も無いのですから。それより問題なのは（２）の⑥のね美幌インターチェンジ周辺の情報休憩施設の整備、これがね僕何回も町長に言っているのだけれども、こんなくだらないことやめなさいって。あんなところに休憩できるような、ものを作ったからって、それが更に美幌の町の中に人が入ってきて、そしてそれが更に美幌峠に向かうなんて、５００％くらいあり得ないでしょう。だからこういう所に無駄な発想と無駄なお金はこんな所にかけないで、いくら町長のマニフェストだといえども、こういうことはやめて欲しいと思う。お金かけてそういうもの作って、お客さん全然こなかった時に誰が責任取るのか。誰が考えたって分かるでしょう。
宮田委員	道の駅とかインターとか中心市街地のこととか、人の交流場所とか対流場所とかでは同じだと思う。先日業界の全道的な大会があって、そこで開発局の方とか道の方とかいろいろとお話しをしたのですけど、道の駅自体は昔は目的地行くまでの休憩所というイメージが強かったが、今は道の駅自体が目的地になっているという状況だということなので、国交省の方も地域拠点の強化とか道の駅同士をつなぐネットワークとかそういう部分に力を入れて目的地としての道の駅をイメージするような動きであるというような話をしていました。 美幌峠が今道の駅ですけれども、この前商工会議所の観光客のアンケートでも峠には行くけれども、そこから先へは美幌町へは来ない。 やっぱり道の駅を集客する拠点としては町の中に目的地となるものを、作った方がいいのではないかなと思うので、こういうものを計画上げておいていいと思いますし、今会長言っていたインターチェンジの部分については、町の構造とかもあると思うのですよね。立地の部分。イ

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 宮田委員	ンターから町が離れているとか、インターから下ろさないと町に入ってこないような町とか、そういう部分では開発局の人もインター付近に作るのは、下ろして町に誘導するのは有効だと言っていたが、美幌町がそこに当てはまるかは疑問だが、施策は入れておいたとしても町中に誘導するための機能というのを、果たせるかどうかは十分検討して実施するかどうかは決めていった方が良いかなと思う。それと、その中で今観光振興計画を自分も今参加しているが、１期目の時も参加しているが、それが実際運用されてきたかというと、ちょっとそういう実感が無いので、一般的なことはいつもどおりしてきたと思うが、新しい部分については町と商工会議所、観光物産協会、ＪＡ各団体が毎回、毎月でもいいから打合せするような場所を作って実現に向けて進んでいただければなと思う。
若林会長	ニューツーリズムなんかは、まさに今宮田委員が言ったように活用できないか。
宮田委員	委員長ではあるのですけど、まだあまり進んで無いのですけれども、そのルートとしては昔は道路も発達していないのでＪＲでいってバスで峠行って阿寒行ってという観光ルートだったと思うのですけど、今は車社会で、ＪＲで行って街中通って峠へ観光とは少ないみたいで、道東の釧路とか、帯広方面から峠へ来て、峠が目的地なのでそこからまた戻るという人が非常に多く、なかなかこちら側に降りてくるルートにはなっていないので、今商工会議所で作りたいのは峠まで来た人をなんとか街中に呼び戻すような美幌の魅力的なことをＰＲするようなことをやりたい。
若林会長	言っていたが、美幌峠を美幌の町の玄関口と考える発想も良いと思う。
宮田委員	今は昔と発想が逆になっている。
工藤委員	道の駅が町の真ん中にあっても、端にあってもいいと思う。ただ、道の駅を目的に行きたいような道の駅を作らなければならないからにはかなりの覚悟を持ってやらなければならないと思う。僕は北海道内の中で自分が目的として行っている道の駅って１箇所あるのですけど、美瑛ですね。そこはやっぱりレストランがあって札幌のノリエールっていう所のシェフがプロデュースしている、そしてその隣に売っている野菜も美瑛選科といってすごく良い物を売っている。用が無くて唯一行っているのはその道の駅なのですよ。ああいう、こんな田舎にこんなものがある、しかも周りには何もないのですよね。これだったら、美幌でもいけるのではないかなというふうにいつも行くたび思っていたのですけれども。普通に芋団子売ったりとか、その程度だったら、誰も来やしませんよね。そこでしか食べられないもの、そこでしか手に入らないものを売っているとかやっているとかでなければ、今の美幌峠と同じ事になってしまう。だからかなりのハイレベルの飲食店なり、物を売ったりす

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 工藤委員	るとお金持ちがやって来るかもしれませんね。次に作るときのコンセプトって、みんなが買える安い物もなければならないと思うのですけど、だからうまい具合にちょっとした軽い食べ物がそこと同じプロデュースで作られているようなフライドポテトとかそういうのも横にくっついているのですよね。こういうのはすごいなと思って見ていました。ですから次美幌でやるときは、もしレストランみたいなものを作るのだったら、プロ中のプロにプロデュースしてもらってやれば、人呼べるかもしれないと思っているのですよね。
若林会長	縁はあるんですよね、美幌の場合は。美幌バーガーを考えた木下シェフね。彼は美幌との関係も深いので、僕らが今考えている街の駅というのは、富良野のマルシェみたいな機能もあって、今、工藤先生がおっしゃったような高級レストラン的なもので、やっぱり町民対象には出来ないですよね。やっぱり外部から、それこそお金持ちがお金お落としに来るような総合的なものも今、役所と調整図りながら進めて行きたいと思っており、大いに参考にさせていただきたいと思います。 あと（３）の④の宿泊施設の誘致なのですけれども、これは本当に待ったなしだと思うのですよ。美幌に泊まらないのですよ。もったいないですよ、療育病院の理事の方ですとか、日甜それからクレードルとか、たくさん毎月のように入って来るのですけれども、恵和会ですとか、ところが誰も泊まらないです。グランドホテルもあまりきれいでないからいやだと。みんな山水に行ったり、網走に泊まる方もいるし北見も。この現状を考えた時に今必要なのは絶対に、ホテルの誘致なのですよね。宿泊施設の誘致。今、ここに旅館業の方もいますけれども、そこに遠慮をしていたら、峠の湯が反対にあって、宿泊施設が出来なかった。これはね、議会の反対もあったのだけども、全道でね、宿泊施設のついていない温泉施設で成功したのはゼロですよ。ですから、あれは絶対失敗すると最初から言われていたことですから。今例えば誘致だけでなくても、グランドホテルが撤退したいと、本部の意向は撤退ですから。地元で働いている人たちが、なんとか私どもがやりますからもう少し、猶予をくださいということで、社長も交代した。今社長も手伝っていますけれども無給ですよ。そういう中でも本当にぎりぎりのところでやっている。それをね、町がホテル必要だったら、グランドホテルに少しくらい資本投資出来ないのかというところと、ユースホステルに１００人泊まれるのですよ。あれも投げてありますよね。あれに少し手を加えてラグビーの合宿だとかのスポーツ合宿の人たちを泊めるとかね。みどりの村にも宿泊施設があるでしょう。峠の湯も試算したら３０室くらい空いて使ってない部屋に出来るのですって。それも我々お願いしたのですけど、そういったところも活用した中で、なんとか美幌の町に泊まってもらう。泊まってもらうと、必ず夜ご飯食べに行ったり、お酒のみ行ったりするのですから。それでまた夜もお金が回るしね。本当に一番先にねこの宿泊施設の充実をさせてもらいたい。宿泊施設絶対重要ですよ。何をやるのでも。大きなイベントも持ってこられないですよ。泊まれないから。ぜひ、これ本当にお願いします。我々も協力しますからこれは。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
矢萩経済部長	宿泊施設の関係、まちづくりアンケートだとかそういったところでも整備を求めるといった声はあります。町長のマニフェストの中にも滞在型観光の推進という所にも出ていますけど、町の内部で話したのは民間主導で誘致をお願いせざるを得ないのではないかといった話はあります。
若林会長	だけど町が旗をふらないと、民間だって来ないよ。
矢萩部長	あと行政の役割としては進出しやすいような環境作りですね。例えば遊休の土地の賃貸だとか、あと、今回町民会館の基本設計やっていますけれどもその中では、バンケット機能だとかコンベンション機能というのを用意して、今実際バンケット機能、コンベンション機能を持ったホテルというのは、現実的にそういったところの運営だとかは非常に厳しいというような情勢もありますので、ビジネスホテルに特化したようなそんな誘致だとか、民間の方でお願いできればというのがあろうかと思います。
若林会長	バンケット機能でも無いと困るよね。だから町民会館との役割を担ってくれて、ビジネスホテルさ。バンケット合わないのだから。結婚する人も少ないしさ。ぜひこの宿泊に力を入れて頂きたいというのとですね、この特産品ですけれども。素材としてはいいものありますよね、美幌の町。それを加工して特産品にするというのが今まで無かったので、まるまんま醤油もやってきましたけど、まだまだ力足らずで、それと勢いが止まっているのですけど、例のアスパラスープ。これも商工会議所の補助事業で始めたことなのですよ。町からも応援してもらっていますけど、これを軌道にのせるまでは、ある程度町の支援がないと、この町では特産品が出来ないと思うのですよ。だからここのところの応援も、別に商工会議所がお金儲けするためにやっている事業ではないですから、本当に美幌の特産品を育てたいという思いからやっているので、しばらく応援していただきたいというふうに、この場を借りてこんな事言うのも何ですけれども。
三坂委員	たしかにね、新しい物を作るのに最低で５年かかるのだわ。食品関係になると試験と併せて７～８年かかるの。女満別あたりでも美幌に保健所があるときにやっていたのだけど、全部やるのに１０年近くかかっている。だからそれだけの猶予を継続的に町で面倒を見るといったら、変だけれどもお互いにやっていかなければならないので、そうしないと良い物が出来てこない。だから２年や３年で切られたらとってもでないけど後続かないのさ。問題はそこなのだよ。だからそこのところで、こんな事言ったら悪いけれども、町と農協と商工会議所この三位一体となって町の３本柱なのだから、一体になって協力し合って１つのものを作り上げていく、こういう姿勢を作って欲しいなと僕はそう思うんですよ。どうもいつもばらばらでしょう。だから三位一体できちんとやっていただきたいな。それが第１番だな。だからあらゆる面で、美幌は農産物が

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 三坂委員	多い訳だから、そういう加工品は十勝郡部から見たら遙かに遅れている訳だから、オホーツクのこっちの物だけでいいからね、継続的にやれる物をきちんと三位でやってほしいなと思うのですよね。 　それとさっきのホテルの関係だけど、これ、確かに必要なのだ。だけど町は、やるときは、行政は協力してくれないから出来なかったという例はあるのだよ。それともう一つ、今になったらもう、地方から来て貰った方がいいだろうな。いや大手に。大手しかないと思う。だけど大手も悪いけど、北見にルートインが駅前に２００室できる。両方併せて４００室になる。そこにドーミインがある、パコある、東横、全部で８００なんぼかな。そうすると、大会行事が北見であれだけ多くなるというのは宿泊設備もそうだけど、やる施設も整っているのだよね。スポーツ関係でも何でも。そういうのを総合的に判断した上で、美幌はそれなりのコンパクトな中で活力のある町にした方が僕はいいと思う。だったらホテル誘致もいいし、そういうことどんどんやったらいいと思う。ただそこに気を付けなければならないのは、投資したら大手の場合はさっと下がるからね、そこを、気をつけなければならない。残ったものは空き家になってしまうから。そういう良い例がたくさんあるから。ただそれだけが心配。ただ僕はそんなに悪いことでは無いと思うのだ。確かに投資金額はパチンコ屋よりかかるのだよ。利益はパチンコ屋の方がいいのだから。１坪の中で稼ぐ金額と定山渓の売り上げと同じなのだから。だけどそれだけ投資するけど、それだけの見合うもの、美幌であればね。それとさっき会長が言ったように、グランドホテルが撤退するとかしないとか言う前に、行政も民間団体も出来る範囲で使ってやって協力して使ってやったらいいんだよ。あの宴会場とかそういうようなところ。そうすればそのまま存続する訳だから。そうするといろいろな面で活用ができるので。
若林会長	やれることから手をつけないとだめだよ。これ時間ばかり経ってね。この３０年間振り返ってもさ、やっぱり記憶に残る事業をやってないのさ。今からでも遅くないのだから。１つ１つ確実にさ。今ホテル実現するまでの間ね、さっき言った様な施設を改装していくとか、少しでもこの町に泊まってもらえるように、もう本当にね、ラストチャンスだと思うよ。他にありませんか。
宮田委員	７４ページの（３）観光情報提供、サービスの向上のところでインターネットの接続サービスという言葉をここに何か入れられないかなと、今結構観光の拠点となるところは無料の公衆無線ＬＡＮみたいなものが使える所が増えている。美幌も公共施設のしゃきプラとか、びほーるとかそういうところで使える所がありますけれども、みどりの村で使えるとか、そういうのをもっと増やすようなものをここに入れたらどうかなと思ったのですが。峠はどうですか。
小室商工観光主幹	峠は使えないです。あそこは電話回線が行ってないんです。開発にお願いをしていますが、開発は道の駅の端末機に光が入っていて、そこをなんとか使わせて欲しいという話をしたら、月額何十万円か払ったらい

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
（引き続き） 小室商工観光主幹	いとのことで、そこをなんとか、メーター当たりいくらですよというのが、あるらしくて、それに基づいて大体２５キロ近くあそこまであるということで、今なんとか粘り強く要望はしている最中で、峠はなんとかしたいなということでは同じ思いです。
那須総合計画主幹	事務局から今の関係で、２４ページをお開きください。地域の情報化の推進というところで、（２）で③公衆無線ＬＡＮの整備充実で、公共施設におけるWi-Fi整備を計画的に実施しますということで、こちらの方今言われた部分については盛り込まれますのでよろしくお願いします。
若林会長	これで、クリアー出来るってことね。 今ね、新しい試みとしてはね、スマートフォンをかざすだけで、５カ国くらいの言葉で観光案内から何から全部、情報をひろえるというのが、都市部ではそういうのが出来てきているのだって。それで女満別空港も３カ国ぐらいは観光客に案内出来るような機会を入れたらいいのではと、そんなに高くはないですが、そういう物が今出来ているようです。今の人達だったら、パンフレットもらうより、そういうのをかざしてぱっと情報をもらった方が早いのでない。我々の世代と違うのだから。宮田さんそれで、前の２４ページに載っているということでいいですか。
宮田委員	はい。
若林会長	それでは最後のちょっと時間過ぎましたが消費者保護の充実という部分でありませんか。今美幌の町で消費者協会での特別大きな問題を寄せられたりすることはあるの。
小室商工観光主幹	実は、先日報道があったと思うのですが、特殊詐欺の振り込め詐欺で１００万円を。
広島総務部長	医療の還付金ありますからと。
若林会長	還付金貰うのになんで、金払わなきゃならんのさ。その理屈が分からない。
小室商工観光主幹	機械操作のところに振込というのがあり、振込というところを押して下さいと言われるらしいのですけれども。「あれ、そちらに振り込むのではないんですか」というと、巧みに「いやいや、あなたに振り込むという意味のボタンですよというように誘導するらしいのですよ。そしたら相手の電話番号、口座番号を巧みに誘導していくのですね。それで、金額もいつの間にか押ささって最終的に、金額も金額ではなく番号だ、みたいなことを言うらしいのです。ですからお年寄りは機械操作に慣れていないせいもあり、操られているというのが現実らしくて。

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
若林会長	これ、まち育出前講座はけっこう活用されているんでしょ。
矢萩経済部長	はい、かなりの回数消費者協会とかも実施してます。
若林会長	僕らもそれ受けたけど、これ結構効果あるよね。
矢萩経済部長	やっぱり情報の提供が１番の未然防止につながるのかなと。
大関委員	一生懸命やっていますよね。消費者協会さん。
若林会長	今まで全部通して、何か質問ありませんか。無いようでしたら、時間も１０分くらい経過しましたので、これで閉じさせていただきたいと思います。次回は２８日、時間は６時半から場所はしゃきっとプラザに戻ります。集団健診ホールということで、内容は基本目標の４番、建設水道部の業務に関わる内容ということでございますから７９ページから９７ページまでをあらかじめご覧頂いて、そして会議に臨んで頂きたいと思います。本日はお疲れ様でした。どうもありがとうございました。